

概要と基本コンセプト

地域医療では、急性期から慢性期におけるシームレスな医療が必要となります。診療所や往診をベースに地域医療を行う家庭医と、診断困難症例や入院患者の診療・ケアを得意とする病院総合医の協力が大切です。急性疾患は当院のような中核病院の救急室で受け入れ、入院治療を行い、症状が落ち着けば、地域包括ケア病棟で亜急性期の療養を行います。退院後は地域の診療所、施設または外来で慢性期医療を行います。患者の希望に合わせて、在宅や緩和ケア病棟での看取りも行います。地域医療研修は、さまざまな問題を抱える患者へのアプローチと「総合医、地域を診る医者」として行動します。

また、超高齢化社会の進行を背景に地域包括ケアシステムの整備が求められる社会状況を踏まえ在宅診療の現場研修も含まれています。本プログラムでは、初期研修医が経験すべきコモン・ディシーズを外来・病棟・在宅診療の現場で受持医として実習します。

研修スケジュール

救急総合診療科、在宅診療部で研修するプログラムです。受け持ち患者の状態に応じて内科、外科などの専門医の指導が組み込まれることもあります。研修時は、入院患者管理、外来診察を行いながら、訪問診療に同行し、行動目標を達成できるようにします。

第1週～4週（ほぼ同様です）					
	月	火	水	木	金
午前	第4日曜日翌日の月曜日 8:30 救急カンファ 病棟回診 9:00 外来診療（総合診療）	8:00 消化器内科カンファ 病棟回診 9:00 外来診療（総合診療）	第2第4火曜日翌日の水曜日 8:30 救急カンファ 病棟回診 9:00 外来診療（総合診療）	8:30 研修センターミーティング 病棟回診 9:00 外来診療（総合診療）	病棟回診 （在宅・施設訪問診療等）
午後	15:00 入院患者多職種カンファ 病棟回診、カルテ記載等	12:30 内科カンファ 14:00 在宅・施設訪問診療 病棟回診、カルテ記載等	14:00 在宅・施設訪問診療 病棟回診、カルテ記載等	13:30 緩和ケア多職種カンファ 14:30 在宅・施設訪問診療 病棟回診、カルテ記載等	1週間の振り返り 病棟回診、カルテ記載等

初期研修医 研修目標

※ACPは、在宅診療および入院診療時に適宜経験する

GI0(一般目標)

地域保健・医療を必要とする患者さんとそのご家族に対して疾患だけでなく社会的・家族背景を含めて全人的対応が可能となる。

- 1) 在宅診療中の患者の緊急医療、レスパイト入院を体験し実践する。
- 2) 介護保険領域の施設を見学する。
- 3) サービス付き高齢者住宅や老健施設を見学する。

SBOs(行動目標)

- 1) 地域包括病棟で入院患者の治療、生活指導を行い退院調整が行える。
 - ・慢性疾患（糖尿病・高血圧、COPD、慢性心不全など）の管理と生活指導ができる。
 - ・麻痺や筋力低下に対するの管理、生活指導ができる。
 - ・経管栄養、気管切開の維持管理ができる。
 - ・認知症、高次脳機能障害の有無の判別、適切なコンサルテーションができる。
 - ・摂食嚥下障害のスクリーニングテストができる。
 - ・ADL評価 FIM の評価ができる。
 - ・廃用症候群や活動能力低下に対するの適切なリハビリテーション処方が可能となる。
 - ・医師、看護師、コメディカルスタッフ、その他の職種の業務内容を知り適切に協力できる。
 - ・維持期の患者の身体管理、生活指導が行える。
 - ・介護保険制度を理解し適切なコンサルテーションが可能となる。
 - ・老健施設、特養施設での医師の役割を理解する。

LS(方略)

- ・地域包括病棟入院患者の診察、評価(実習)
- ・病棟入院患者の家屋訪問、地域カンファレンスへの参加(見学) 維持期の外来診察(見学)
- ・介護保険意見書の作製(実習)
- ・介護保険ケアプランの作製(実習)
- ・訪問リハビリテーション(介護保険) 同行訪問(見学) 通所リハビリテーション(介護保険) 同行訪問(見学) 訪問診療同行(見学)